



広報

おゆみ

第57号

平成29年1月14日

発行：町内総務部

生実町会館 ☎268-1946

生実町ホームページ

<http://www.oyumi.com>

~~~~~伝統と創造のまち~~~~~

町内活動の今後の課題

生実町町内会



会長 丸嶋 義雄

明けましておめでとうございます。

平成二十九年度の輝かしい新春をお迎えのことと、心より喜び申し上げます。

昨年は生実町のみなさまのご理解ご協力により町内活動も円滑に進み、生実町伝統行事の町民体育祭・盆踊り花火大会・祭礼行事も無事終了でき、積重ねをすることができましたことを感謝申し上げます。

長い伝統をもって生実町の自治を担ってきた生実町町内会も、あらためて町内会のあり方が注目されています。その背景には、今後いつそう進む少子高齢化の多様で深刻な状況や課題に応じた組織と活動の見直しを迫られています。子どもの安全、孤独死の防止や、認知症住民の徘徊、生活の見守り、空き地・空き家の管理など、新たな課題が生まれてきており、こうした課題に後押しされて、町内会の運営と活動の新たな展開を図る動きが必要となります。

共通の認識を持つことで

生実町町内会に動き

生実町のみなさんに、町内会活動に協力してもらうためには、情報をしっかりと共有し、共通の理解と認識で活動してもらわなければならないと思っています。

みんなでつくっていく生実町町内会

町内会から生実町のみなさまに何かをするのではなく、生実町民の方が町内会という組織を使って、この生実の町をどうしていきたいのか、役員だけでなく、生実町のみなさんにそういう気持ちで町内会への関心と責任を持つてほしいと思います。個々がまちまじのことに関心を持ち、問題意識を持つことによって、さまざまな意見が生れます。それを具体化するのが生実町町内会なのです。

そのためには生実町内の敷居を低くして、生実のみなさまが気軽に何でも言えて、交流できるということが大事だと考えます。

生浜地区運営委員会

各自自治会が取り組む課題の多様化、困難化を地区の学校、あるいは市民団体、各地区の諸団体、自治会の代表者等と相互協力体制を築き「安全で安心できる住みよいまちづくり」を目指し平成二十七年四月に生浜地区運営委員会が設立されました。

しかし、現実には、なかなか連携が進んでいないのも確かです。その理由は、各町内会、自治会に対する理解の違いや、両方の団体の誕生の歴史的経緯もあって、組織間の接点がなかなか見いだせないことがあります。

連携のためには、行政の役割が必要だと思えます。

生実町のみなさまに、この機会に生浜地区運営委員会の三部会（青少年部会、高齢者・要支援者部会、防災部会）に加え、共に心に触れ合う町づくりに向けて頑張ろうではないですか。

副会長 長谷川 功

あけましておめでとうございます。会員の皆様には、日頃より町内会活動にご理解・ご協力を頂きありがとうございます。皆様のご協力により昨年予定されていましたが町内会行事も、無事終了することができました。会員の皆様には、役員一同心からお礼を申し上げます。また、最近では、新潟県糸魚川市の百五十棟を焼いた大火・新潟市の火災そして南房総市の火災等々、火の恐ろしさを伝える報道が毎日のようにされています。生実町では、消防団による年末年始の夜間パトロール、青パトによる巡回等、町内会・諸団体・諸関係等の団体と協力して「安心、安全で住んで良かった生実町」を合い言葉に活動をして行きますので、今年もよろしくお願いいたします。

副会長 増田 文夫

町内の皆様 新年おめでとうございます。昨年中は、町内活動へのご指導ご協力を頂きありがとうございます。

町内会の三行大事（体育祭・盆踊り花火大会・祭礼行事）を無事に行う事ができました。三行大事を成し遂げたのは生実町の持つ地域の力「地域力」です。感謝申し上げます。又、生実町も高齢者が多くなり高齢化率も生浜地区の中では高い町です。そして熊本、鳥取、福島沖等で地震被害がありました。当地域でもいつ起きてもおかしくない状況です。このような多くの課題に対処するには、町内の皆様と対話し協力して活動したいと思えます。そして安心安全な町づくりを目指します。

町民の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

総務・会計部

部長 中村 洋一

新年おめでとうございます。町内会会員の皆様におかれましてはご健勝の事とお喜び申し上げます。

生実町町内会新年会では、各組長様をはじめ諸団体・諸関係の皆様方の御臨席を賜り一月八日に行われました。お忙しい中誠にありがとうございました。

本年度予算に組み入れました生実町会館の下水道の切り替工事、昨年十二月に行う事が出来ました。これも、町内会会員の皆様のご理解、ご協力を頂いたものと感謝申し上げます。

生実町会館のご利用にあたり、何かお気付きの点がございましたらお知らせ頂ければ幸いです。

本年度の町内会行事も、三月十八日の決算総会を残す所となりました。町内会行事に際し活動頂きました組長様、諸団体、諸関係の皆様にお礼申し上げます。結びに、町内会会員皆様に良い一年であります様ご祈念申し上げます。

環境部

鍋木 良孝

明けましておめでとうございます。

町内会の皆様方には、草刈等の町内の美化活動に協力頂きましてこの機会に礼申し上げます。

今年度は回覧でお知らせしているように、仮称「生実公園」が着工し、年度内の完成にむけ工事が進行中です。この公園は地形を生かした配置になっており眺望もよく、運が良ければ富士山も眺められると思えます。憩いの場や散歩にご利用ください。また生実神社前の道路の透水性舗装の打換えが行われました。続いて生実池交差点路面改修を要望いたします。

その他カーブミラーや防犯灯の整備を行なっています。

そして、今年度より試験的に木の枝や落葉を資源として収集する試みを行っています。自分の住んでいる近くにごみの処分場があるのは誰でも気持ちのいいものではないかもしれませんが、ごみの減量にご協力お願いいたします。最近家庭用ごみステーションでカラスの被害が多発しています、生ごみはコンポスト処理すれば良いのですが、手軽な燃えるごみで出しているため不法投棄がある被害にあいやすくなり、お近くにお住まいの方が迷惑することに成ります！ごみステーションは公共の場なのでルールを守らないと成立しません。環境部では巡回をしています、人手と時間が限られますので利用者の良識に掛かっています。皆様のご協力をお願いいたします。

防災・防犯部

石丸 潤

明けましておめでとうございます。平素より防災防犯部にご理解、ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。近年、関東地区での大規模地震の発生の危惧や、昨年十一月には観測史上初の積雪など過去例を見ない異常気象等が発生しています。

防災防犯部では災害時に備え、防災備蓄倉庫に非常食等を備蓄したり、消防団と協力し、避難訓練等を行っています。今年の防災訓練は三月十二日（日）の予定です。多くの皆様の参加をお願いいたします。

二十九年度は、防災備蓄倉庫の塗り直し、また、生実町内へ防犯カメラ三台程の設置を予定しております。

今年も生実町の安心、安全の為、活動していきますので、皆様の一層の御協力を宜しくお願いします。

文教科体育部

部長 名久井 源一

町内会会員の皆様におかれましては、良き新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年の町内会行事には、多数の参加とお手伝い頂きご協力ありがとうございました。

昨年度は、町内体育祭、盆踊り花火大会までは天候にも恵まれ順調でしたが、祭礼行事は、雨天の為午前中で中止になり、生浜地区体育祭は、不本意な結果になってしまい残念な気持ちで年末を過ごしました。各行事もそれぞれの課題を残しており、本年は少しでも行事がスムーズに運べる様に対応していきたいと思っています。また、生実町内も高齢化が進んでおり、町内会行事に参加する事が困難な方達がたくさん居る事も現状です。若い世代の参加者も少なくなっております。是非、町内会行事の際には、若い人達の参加を呼びかけて頂きたいと思っています。

私自身文教科体育部長は、一年目でもありまだまだ力不足の所もありますが、本年も、ご協力お願い致します。

青年会

会長 穴倉 剛秀

町内の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。昨年も青年会活動にご理解、ご協力を頂き、ありがとうございました。

青年会は、昨年二名の新会員を迎え、総勢二十八名となりました。会員は随時募集しておりますのでお気軽にお声かけ下さい。

今年も私共青年会は、OB会や町内の方々にご指導を頂きながら、活気ある生実町になくはならない組織でありたいと考えています。今後とも変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い致します。

婦人会

会長 中村 しめ

寒い日が続きます。体調を崩さぬようご自愛下さい。

新年おめでとうございます。婦人会は町内会の四五行事のお手伝いをしております。昨年は住民の増加により「SOS」旗の作り置きをしてあります。十月は親睦を兼ねて「ホテルオークラ」で食事会、リッチな気分です。つづみ、楽しいひと時を過ごしました。会館二階の障子は何年も切り貼りしてきましたが、この度張り替えてきれいになりましたよ。又かねてから依頼のあった「そよ風」に「水戸黄門御一行」を旗上げし慰問に伺い大変喜ばれました。十一月には昨年につづき「淑徳共生苑」にも伺いました。又来て下さいね。楽しかったよ。という言

葉をいただき、達成感で帰って来ました。今年度も会員の親睦をはかりながら、町会のお手伝いや、子供達の身守りと、地域に密着した活動をして行きたいと思っています。

子ども会

会長 小茂田 貴仁

明けましておめでとうございます。町内会会員の皆様方におかれましては、つつがなくお迎えのこととお慶び申し上げます。

また平日頃より、「子どもは地域の宝」をモットーに子ども達の安全を見守っていただき、心より御礼申し上げます。子ども会活動（町内会・諸団体・小学校子ども会・行事・公園清掃）を通じて、地域の皆様方にも心温かく慈しみ見守って頂いている御恩に報いる為にも、子ども会活動を通じて、明日の生実町を背負って起つ子どもを育成できれば、と考えております。しかしながら、他の地域と同様に加入率が減少の一途をたどっております。

今後、子ども会の発展の為にも、諸課題に向けて着実に前進するとともに、新たな行事など立案し、親子共に楽しめる活動を計画したいと思っておりますので、今後も温かく見守りいただきます様、よろしくお願い致します。

百寿会

会長 青柳 孝治

謹んで新春のお慶びを申し上げます。町内の皆様方には日頃より大変お世話になり厚く御礼申し上げます。

最近では高齢化と共に自然災害等も増加し、地域社会が求める「人びとを結びつける力」で地域社会の抵抗力、回復力、即ち「レジリエンス」を高めようとする動きが活発化しております。



▲百寿会 銚子 太陽の里 28.9.29

当会も微力ながら一助になればと思っております。

当会は現在八十八名（男性三十四名、女性五十四名）の在籍となっております。「健康で楽しく明るく」をモットーに健康長寿を目的に活動をしております。主な行事として、グラウンドゴルフ（親和グラウンドの他に淑徳大学のグラウンドを週三、四回無料で使わせて頂いております）に盛り上がりつつあります。ゲートボール、輪投げ、輪踊り、カラオケ、編み物等自分にあつたものに参画。また、春は日帰り旅行、秋は一泊旅行やいも煮会、上部団体主催の



▲芸能大会での1コマ

▲水戸黄門御一行にふんして慰問

▲会館2階の障子の張り替え

芸能大会等に出演しています。対外的には町内行事の参画、東小学校や生実保育所の児童との交流、下校パトロールは一斉と当会独自（月二回）の両建てで実施しております。

高齢化が進む中、当会も現在平均年齢七十八歳と高くなっていますので、もう少し若い六十代、七十代前半の方の入会をお待ちしております。体験入会でも結構ですので近くの当会メンバーに気軽にお声かけ頂ければと思います。それでは町内の皆様のご健幸とご多幸をお祈り申し上げます。

今後共ご指導、ご鞭撻の程よろしくお祈り申し上げます。

防災会

会長 山口耕治

生実町内会の皆様、明けましておめでとうございます。

輝かしい新春を皆様健やかに迎えられたことを心より喜び申し上げます。昨年中は防災会の活動にご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございました。

お陰をもちまして生実町内におきましては大きな事故、災害もなく無事に活動できました事を、皆様方に心より感謝申し上げます。

本年も生実地区合同の避難訓練が三月に予定されています。

災害が発生した時には隣近所の人達の助け合いが必要となります。

町内で行われている防災訓練にも積極的に参加して頂き、いざと言う時の備えにしたいものです。

生実町防災会は、本年も地域との連携を図り災害に強い町作りを目指した活動を続けていきたいと思っておりますので、今後ともご指導・ご鞭撻の程宜しくお祈り申し上げます。

平成二十九年度も皆様にとりまして事故・災害の無い良い年でありますように御祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

消防団

部長 長谷川 政幸

新年おめでとうございます。

平素より消防団活動にご理解、御協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

生実町消防団では年間を通して、町内各所に設置してある消火器の点検・巡回、火災予防週間に町内巡回、操法大会に向け訓練及び大会出場、生実町花火大会の警備など、地域防災活動を行っています。

消防団では、健康で二十歳以上の男性を募集しています。

興味のある方は、見学からでも構いませんので、お近くの消防団員に声をかけていただくか、毎月一日・十五日に消防器具置場において定例を行っておりますのでお越しください。宜しく願います。

女性消防団

会長 長谷川 久子

明けましておめでとうございます。

町内会の皆様におかれましては、平成二十九年度の輝かしい新春を迎えられ心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より、女性消防団に対するご理解とご協力を頂きまして、ありがとうございます。

私共女性消防団は、微力ながら、町内の皆様と共に活動しております。

本年もよろしくお祈り申し上げます。

スポーツ振興会

理事 福 秀蔵

明けましておめでとうございます。

新体制になり二年目となりますが従

来通りに、地域の行事の実施と町内三大行事のお手伝いはもとより行政の講習会へ参加して習得したものを推進委員、協力員共々幅広い年齢層の方々と一緒にスポーツ、レクリエーションなど楽しみながら体力増進、親睦にと努めてまいります。

今後スポーツ振興会にご協力、ご理解をお願い致します。

結びになりますが皆様にとって素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

生実神社

総代代表 大塚則雄

新春を迎えて、皆様方には輝かしい新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。町内の皆様には、日頃よりご支援ご指導ご協力を受け賜り心より厚く御礼申し上げます。

神社役員は、毎月一日、十五日に神社境内や弁天講等の清掃を行ったり町内行事、諸団体行事にも参加しております。

昨年の大祭では、悪天候の中、子供達が全身濡れながら神輿を担いで頂いた事に感謝を致します。十一月の七五三には七組の祈願を致しました。又、駐車場の設備については、神社まもる会会長のご指導を頂き、経費節減のため、役員他二名の方



▲生実神社 駐車場地鎮祭

で十二月一日より三日間掛け、大木の伐採を行いました。十二月十三日には地鎮祭を町内会長初め、神社役員、神社まもる会、関係業者の方々で行いました。完成は一月末に成る予定です。町内会の皆様には何かとご理解ご協力をお願い申し上げます。

民生・児童委員

代表 川嶋 祥生

日頃、民生委員活動に、ご支援ご協力感謝申し上げます。

少子高齢化社会が進んでいる中、生浜地区でも、十人に一人が七十五歳以上となっています。あわせて、一人暮らしの世帯も増え、日常生活を行っていくうえ、何らかの支援が必要かと思われまます。

高齢者および必要支援者が安心して日常生活を営むことができるよう、構成団体と共に活動も、行っております。

民生・児童委員、地区部会、老人会及び地域住民が連携した「一歩引いた位置からの見守り」(安否確認)の実施。また、災害が発生した場合の避難行動要支援者に対する支援を含め組織活動を構築していきたいと思ひます。

また、振り込め詐欺などの被害にあわないための情報提供及び相談対応、子供達の交通事故、被害にあわないよう下校時の見守り活動も続けて行きたいと思ひます。

今年度は、民生員・児童員「一斎改選の年」にあたり二人の方の新退がありました。

七人の侍じゃないけど、地区九人の民生、児童委員が相談に応じ、声かけ活動をしていきたいと思ひますので、どんな些細なことでもかまいませんので連絡、相談をしていただければと思ひます。

第113地区生実地区民生委員・児童委員

委員	電話番号	担当区域	組番
戸田 功夫	263-2716	1番組-1、2番組、3番組、4番組-1-2-3、5番組、6番組-1-2-4、7番組-1、9番組-3	
関谷由美子	261-3663	1番組-1-2、12番組-3、14番組-1-2-3-4、17番組-3、19番組	
小池つるみ	263-1278	1番組-1、1番組-2	
秋元 千歳	268-3468	1番組-2-3-4-5-6、16番組、17番組-3(一部)	
石川奈保子	264-6481	2番組、4番組-1、11番組-1-2-3、11番組-5、12番組-1-2-3-4、15番組-2-3	
市川富士夫	263-8876	4番組-2、7番組-2、9番組1-2-4、10番組-3、11番組-4、13番組、22番組-2、南生実町一部、鴻池社宅	
増田美和子	261-3731	5番組、6番組-1-2-3-4、7番組-1、10番組-2-3、11番組-1、13番組、22番組-3	
川嶋 祥生	268-1472	15番組-1-2-3、17番組-1-2、18番組	
知野 光子	264-0700	角栄内	

※高齢者（ひとり暮らし）ならび、子供の見守りに関して。日常どんな些細なことでも、かまいませんので、担当民生員・児童委員に、連絡していただければと思ひます。

生実商工業会

会長 山本 広

あけましておめでとうございます。

日頃生実商工業会会員店をご利用頂きありがとうございます。

昨年十二月二十二日新潟県糸魚川市の中心部で起きた最悪の大規模火災延焼五百十棟・四万平方メートルを延焼してしまいました。災害にあわれた皆様に商工業会会員一同心よりお見舞い申し上げます。当町会にもいつ同じようなことが起

るかも知れません。生実商工業会は異業種の集まりなので地域災害発生時町内会と連携し協力できればと思います。今年も春の町民体育祭、納涼盆踊り花火大会、秋季例大祭、町会三大行事、生実商工業会各店総力を上げてご協力致しますので、町民の皆様には商工業会会員店を益々のご支援ご利用を頂きます様お願い致します。又地元企業の皆様の新規入会を随時募集しています。町内会の益々の繁栄と町民の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、新年の挨拶に代えさせていただきます。



▲H28.10.19 (木) 優勝者 高山さん

はやし連

代長 岸 健一郎

新年おめでとうございます。日頃より町内活動にご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。はやし連は、盆踊り花火大会、生実神社の祭礼行事に参加協力させていただいております。生実町はやし連を代々継承していく為にも、小学校低学年のお子様から高学年の方に教えていきたいと思っております。太鼓稽古をなかなか多く出来ません

が、生実神社の社務所を借りて稽古をしています。

興味のある方は連絡を下さい。

連絡先

080-5436-5575

かけがえのない学び

淑徳大学 副学長 磯岡 哲也

私どもの生実町プロジェクトの開始が平成二〇年でしたので、イベントへのサービスマーケティングを通じて、町内会に本学の教育に参画していただいて八年になります。学生たちはどのような学びをしているのでしょうか。一人の学生は率直に記しています。「地域の方々のやりとりは初めてでした。人とのかわりあはあまり得意ではないため、盆踊り・花火大会の前はどのような三日間になるのか不安もありました。しかし、町内会の方々や子ども達とやりとりするなかで、人とのかわりありの楽しさや大切さを学ぶことができました。」

町内会の方々とのこのような出会いから始まって、二年間かけて地域活動の大切さ、地域を主体的に考えていく人材に育てるのが、私どもの目的です。どうぞ、本年も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。



初めての組長仕事

七番二組組長 秋山 伸吾

生実町町内会の皆様、日々の活動、御苦労様です。私は、約五年前に生実町へ引越して来たばかりですが、もともと、近隣の白旗町で生まれ育ったもので、子供の頃からよく生実池へ遊びに来ていた事もあり、生実町へは、地元のような愛着もありました。

引越して来てすぐに、近所の方々から組長制度の話聞き、正直、初の組長となりとても緊張していたのですが、初めての会合の時、まず、組長の多さに驚きました。

生実町の会館が満員になる程の人手で、町内会の歴史の古さを感じ、また自分自身への組長仕事の責任感を強く感じました。

町内会の行事で最も印象に残っているのは、やはり運動会です。同じ町内会の人々が、組対抗という形で、和気あいあい楽しんで、とても印象的でした。生浜地区の運動会では、最下位という残念な結果に終わってしまいましたが、生実町町内会の方々とは、とても温かく、優しい性格の持ち主なので、「争い事が苦手」という事での結果としらた良いのだと思います。

この度、縁ありまして、小学校二年生と幼稚園児の息子二人と共に、子供生と入会させて頂きました。組長として

六価クロム

水質検査のお知らせ

日時 2月5日(日曜日)

午前8時~10時

場所 生実町会館

生実神社

詳細は回覧板にてお知らせいたしますが、時間等お間違えのないようにご協力お願いいたします。

の仕事をあと少しで終わってしまいましたが、これからも、子供達と共に、町内会の行事には、積極的に参加したと思っています。

十一番二組組長 加藤 秀雄

生実町町内会の皆様には日頃よりお世話になっております。前回、組長を担当してから二十数年が経ち、再び担当しました。当時、全国に先駆け町内会のホームページを立上げマスコミにも採り上げられました。

昨年までのアクセス件数は累計で約十二万一千人です。町の情報発信ツ

生実のむかし ⑤

今井 公子

徳川二代将軍秀忠の病死に際し殉死した初代生実藩主重俊の孫の重信は、一六六三年二〇歳で三代目藩主となり、一六九二年五〇歳で隠居し、一七〇六年六二歳で没した。法名は覚林院殿月窓知閑大居士、墓石は重俊院廟所の右隅に立つ宝篋印塔である(写真)。



森川重信は「文武両道を学び、おこな

編集後記

明けましておめでとうございます。

皆様、年末年始はいかがお過ごしでしたか。過ぎゆく一年に思いをはせる大晦日、いろいろあったはずですが、最後は感謝の思いで締めくくるとは皆様同じではないでしょうか。その思いを来たる年の希望に託し、ちよつと居住まいを正すような厳かな気持ちで新年

ルとして今後も期待しております。直近の組長会議で知り話題になりましたが、当時と比べ世帯数は二百弱増え、一方で他の地域同様高齢化に伴いひとり暮らしのお年寄、空家も増えました。一年間を通して組長を引き受けるのが至難の方が増えてきました。難しい問題です。個人では解決できず明確な答えもありません。今後の課題としてみなさんでさらに話しあう必要がありま

い(行跡II品行)はゆつたり落ち着いていて、礼儀正しく、忿らず、奢らず、家臣の諫めを聴き入れ、忠孝を重んじ、領民に憐れみをもつて対応する善の将なり。この将は善事(良い振る舞い)が多いので、誇るところがない善将である。」と数種類の「大名評判記」で好評であり、この本は浪人が就職(仕官)するときに参考とされたという。(千葉大学小関悠一郎先生研究報告)

ちなみに、重信の長男で四代目俊胤は優秀で、寺社奉行を勤め、若年寄(二万五千石未満の譜代大名が就く最高位)まで出世したが、性質酷薄で權威的といわれ在職中の評判はよくなかった。大名評判記は一七五一年頃まで作成され、その後の藩主の評判については不明である。

を迎える。大晦日の夜には日本中に、そして世界中に新しい希望の光が沢山満ちています。

そんな輝きを失うことなく、未来へと繋げていける一年となります様に。町民の皆様にとってこの一年が実りある素晴らしい年であります様に祈念申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願ひします。

(総務・会計)